

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本覚寺苑	代表者	理事長 三木啓康	法人・ 事業所 の特徴	法人は昭和 49 年に設立。特別養護老人ホームやデイサービス・グループホームに加え居宅介護支援事業所や姫路市より委託を受け地域包括支援センターを運営。地域密着型事業として、地域交流を含め、ご利用者の能力に応じた調理や園芸などの趣味活動等を展開し、住み慣れた地域と自宅での生活が継続出来るよう支援している
事業所名	小規模多機能 ホーム花田	管理者	奥田和真		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	2人	1人	1人	1人	2人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			職員からの意見が確認され、概ね前向きに取り組まれている事が把握できた どこでもそうだが人材不測の観点からも、職員の意見を反映させたり確認する事はいいことだと思う	
B. 事業所のしつらえ・環境			来訪する際に、特段気になる事もなく、利用者にとっても居心地のいい空間だと思う	
C. 事業所と地域のかかわり	さらなる地域に根差した事業所となるよう、広報誌及びホームページでの活動状況に加え、地域での活動の場への参加や回覧板を通し、地域の相談場所である事をPRしていく	地域にも一定知られており、祭りの際にも屋台練りの場となっている。 高齢者の施設だという事は知られている 職員さんもきちんと挨拶してきてくれている	現在も地域と施設でも交流が出来ており、今後も交流を続けていきたいと思う	今後も地域に根差した事業所であるよう、今後もホームページ等での活動報告などを行いつつ、地域から希望がみられた際は、地域への介護説明等などの検討を行う
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			今後も地域との交流を維持しつつ、地域住民で課題があれば、地域代表や包括などを含め相談報告などを行い、情報の共有を図っていきたい	

E. 運営推進会議を活かした取組み			資料をもとに説明が十分な されている 地域課題の有無などを含め 話し合いが出来ている	
F. 事業所の 防災・災害対策	運営推進会議等において BCP の 報告などを行い、地域及び事業所 の情報共有を図り、有事において さらなる備えをしていく	事業所内での訓練に参加し た事はないが、定期的に訓練 している事は報告を受けて 知っており、有事の際などを 含め、相談したい	定期的な活動の報告や交流 の場を持つことはいい事だ と感じる 例えば、AEDの設置などを 検討してみてもよいのでは ないかと感じる 次月に地域の消防訓練が開 催される予定となっている	運営推進会でのBCPの報 告や地域の消防活動など、有 事に備えた情報共有を図っ ていく

スタッフ個別評価・様式

実施日 R7年11月21日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	7		
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	10	1	
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	8	1	
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	2	9		1

できている点
<ul style="list-style-type: none">・送迎時や連絡ノートで様子を伝え、家族との信頼関係作りに努めている。関わりが始まる前の情報共有や、支援開始当初の情報伝達を図り、ご利用者とそのご家族や職員を含めた関係性の構築が図れるよう支援している・送迎時などに家人と家での様子、施設での様子の共有をしている。・基本情報を確認し既往歴など支援を行う中で気を付けないといけないことを意識し確認するよう心掛けている。・利用開始時など信頼関係を築いていけるようコミュニケーションを図るようにしている。・基本情報を確認し、支援に努めている。又、利用開始前に全体会議時や朝礼時において、管理者よりご本人の情報等の報告があり、職員間で情報共有を行っている・孤立されないよう意識し、タイミングをみながらコミュニケーションを図る等、配慮を行っている・利用開始前の本人の情報を事前にファイルで読み込んである程度把握できるようにしているのと、会議などで共有している。また家人から聞かれた時は答えられるものであれば答え、言葉遣いや態度も不快感を与えないよう意識している。・利用開始前に管理者より、基本情報ファイルをフリーの机に置いてくれるので目を通してしている。・朝礼時に新しい利用者について報告がある。・送迎時に家族と話ができる機会があれば話をしている。・朝礼時や会議時に情報を共有し支援を行っている・連絡ノートを活用し、ご家族からの要望を確認し、支援している。・初回のご利用時には、情報をもとに支援するよう気を付けている・連絡ノートの活用や、送迎時のご家族とのコミュニケーションにおいて関係づくりに努めている・朝礼時に新規ご利用者様の情報を管理者から報告あり、あとアセスメントの確認を個人で行っている・利用開始時は、緊張や不安な気持ちになられていると思うので、出来る限りコミュニケーションをとれるよう努めている・ご家族とも送迎時や連絡ノートを活用し情報共有行っている

職員間でも対応についてや気付いたことなど報告し同じ対応ができるよう声かけ行っている

- ・基本情報ファイルに目を通しています。
- ・基本情報書を確認すると共に、朝礼での申し送りや会議の時に情報を共有している
- ・笑顔で挨拶し安心してもらえるよう心掛けた
- ・無理に距離を詰めず少しずつ信頼を築こうと意識した

できていない点

- ・帰宅が少ない利用者の家族とは関わりが少ないため 関係作りは難しい。
すべての把握ができていない
- ・ご本人もそうであるが家族の不安な気持ちを受け止め切れているか分からない。
- ・サービス利用時に家人が求めている支援をしっかりと把握できていない事がある。その為必要としている支援が出来ているか分からない。
- ・業務に追われ自分に余裕がない時はご利用様とコミュニケーションがとれていない事も多々あると思います。勤務によっては何週間もかわりがないご利用者様もいると思います
- ・訪問のみのご利用者様は、訪問に行っている職員も限られているので、行ったことのない職員が行くと不安になられていないかと思えます
- ・話しかけるタイミングがつかめず消極的になってしまった

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・送迎ができていない利用者などは、最新の情報が入りにくい時がある。都度日誌などで共有する
- ・なかなか話をする機会もないご家族もおられるため。
- ・なかなか家人と話す機会も少なく、送迎時くらいしか会えないが初期の段階だと送迎に当たらない時もあるため。
- ・職員体制的に余裕がない日がある
- ・見守りする利用者様が多く自立されている方とのコミュニケーションが取れていない
- ・緊張で余裕がなかった。緊張で声が小さくなり話しかけるタイミングをつかむのが難しかった。今後は落ちついて相手をよく見て安心できる関わりを心掛けたい

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	7	3	1
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	8	2	1
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	5	6	
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	9	2	

できている点

- ・「やりたい」と思ってもらえるかたには 色々な事に取り組んでもらっている。
- ・情報を収集し課題分析を図るアセスメントを行う段階で、課題や目標の設定をご本人又はご家族又はその両方と共有している
- ・日勤の時のケアケースで確認している
- ・普段の会話の中で聞くことができた●●したいは他職員へも共有するようにしている。
- ・意思疎通が可能なご利用者は、意向を聞き取りそれに則介護計画の項目にあげ支援を行っており、又、ご利用日においての支援実施の有無の確認と、毎月ケア担当職員による振り返りを行っている
- ・実践した内容をミーティング等で発言することは出来ていると思う。また目標についても評価表を通じてある程度把握は出来ていると思う。
- ・介護計画の目標支援を行っている。全体会議で短期目標について見直しを行っている。
- ・目標はケアプランにおいて確認し、したいことについては、目指した関わりをするよう努めている
- ・実践内容については、ケアカンにおいて意見交換を行い、改善点を話し合っている
- ・全体会議で担当者会議を行いプランの見直しや現状の情報共有を行っている
- ・ケース記録内のチェックシートを日勤がチェックを行い個人で支援している
- ・新しい情報ややってみて良かったことは、職員間で話をしてどうしたらいいかをその都度模索している
- ・介護計画の目標支援を行っている
- ・職員間で情報交換しながら日々の支援もしながら情報収集しています
- ・会話の中でその人の好きな事を知ろうとし、興味を持って聞くことができた
- ・「～したい」と思いを否定せず、まず受け止める姿勢を大事にできた

できていない点

- ・「やりたくない」と話される方やできない方は 手持ち無沙汰になってしまっている。
- ・実際に取り組みが難しい時がある。
- ・ご自身より●●したいなどの発信がない方のしたいこと望んでいることが

分からないことがある。

- ・「～したい」という目標に対してもっと関わりを持てるようにしたいが、なかなかできない。
- ・意思が伝えられない利用者の意向に沿っていないと思う。
- ・ご本人が「～したい」と思われていることが支援できているか分からない 意思疎通ができるご利用者様とはかかわりが多くみられるかもしれないが、そうでないご利用者様とはかかわりが少なくなってしまうように思う
- ・意思が伝えられない利用者がいるから
- ・時間や効率をきにしてしまい、本人のペースに十分に合わせられなかった。どう支援したら本人の望む形になるか考える余裕がなかった

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・本人の気分や体調に左右されることもある為
- ・会話の中での聞き取りが難しく、聞き出せるコミュニケーション技術が足りていない為。
- ・なかなかその人と関わる時間を作れない。他の利用者の見守りが優先になってしまう為それ以外の方へ目を向けてじっくり関わる余裕がない。
- ・見守りが必要な利用者に手がとられて、かかわりができていない利用者があるため
- ・認知症や意思疎通ができにくい利用者様には職員が「～したい」と思われているような事を提供してもそれがご本人の「～したい」かはわからない
- ・歩行支援の知識や経験がまだ不足しており安全によりそう自信が持てなかったため、利用者さんに危険が及ばないようにと思う気持ちが強く、結果として積極的に関われなかった

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

3. 日常生活の支援

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		3	7	2
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10		
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		10	2	
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	10		
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	11		

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の気持ちや体調の変化に気付いた時は その都度 情報共有出来ている。 ・心身状態に変化がみられた際の情報共有や、それが把握できるための平時の状態の確認等を図り、それを共有する事で支援につなげている ・その時の体調の変化やいつもと違うところがあればすぐに他の職員に共有している ・日々の関りなんかで 身体的にも精神的にもいつもと何か違うなど感じたときは 他職員へ報告を行い 他職員の意見も聞くようにしている。 ・日々の関わりの中で様子観察を行い、その日その時の心身状態に合わせて支援を行っている ・送迎時や、連絡帳の活用による家族からの情報も踏まえ、申し送り時や介護日誌に記載を行うと共に、職員間で情報共有し支援に努めている ・体調の変化や本人の気持ちはその場にいる職員や後日ミーティング等で情報共有出来ていると思う。また、それに対し即自的な支援は出来ていると思う。 ・家族からの情報は朝礼時に報告行ってる。 ・体調の変化を伝達行い、状況に応じたケアを行ってる。 ・生活環境等、ご本人の情報については、送迎時や連絡ノートを活用したやりとりの中で、なるべく多くの状態を確認し把握するよう努めている ・ご利用者の声にならない声については、職員間で意見交換を行い、あらゆる対応策の検討を行い、実践し振り返る様になっている ・ご利用者様個々にあった支援を行い、家族からの情報やその日の状態等お変わりがあれば朝礼で共有し管理者、主任に報告行っている ・職員間で同じ対応をすることなど必ず申し送りや朝礼で周知を図っている コミュニケーションをとりご利用者様の気持ちを聞き取れるよう努める聞き取れた時は職員で共有行い次の対応時につなげられるようにしている ・体調や気持ちの変化なども家族や管理者への報告と日勤者へ申し送り介護日誌にあげてもらい共有してい

る

- ・家族からの情報は朝礼時に報告している
- ・気持ちや体調の変化に気づいた時は朝礼で報告・共有し支援に努めている
- ・利用者さんが自分で出来る事は見守りつつ、必要な部分だけ手助けできた。食事や水分摂取など生活の基本を安全にサポートできた。食事や水分摂取など生活の基本を安全にサポートできた。

できていない点

- ・「以前の暮らし方」は把握が出来ていない。
- ・本人の気持ちに配慮はしているも、余裕がない時はイライラしてしまう
- ・現在の御利用者の姿や生活に目がいってしまい 本来大切にしなければいけない今までの生活を把握できていない
- ・①の、登録ご利用者一人一人の10個以上の暮らしの把握は、難しい
- ・以前の暮らし方を10個以上の把握は出来ていない
- ・利用者全員の、以前の暮らし方の10個以上の把握はできていない。
- ・ご利用者様の「以前の暮らし方」10個は把握できていない
- ・入浴など時間がない時など介助を多くしてしまうことがある
- ・以前の暮らしと現在の自宅での過ごし方もほとんど把握できていない
- ・利用者全員の、以前の暮らし方の10個以上の把握はできていないから
- ・以前の暮らし方が10個以上把握できていない
- ・手伝いすぎてしまい、本人の自立を妨げた場面があった

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・気持ちに余裕がなく、その場の状況を一介護職員として俯瞰して見て冷静になる必要がある
- ・現在の生活環境や現在のご本人にばかり目がいってしまっているため。
- ・ご本人以外のご家族に確認しても、知らない事がある
- ・会話の中でくみ取れる場合もあるが、それが難しい人もいる。
- ・業務が忙しくて、利用者とのコミュニケーションが取れていないため。
- ・以前の暮らしについてはコミュニケーションの中でうまく聞き取りが出来ていない
- ・以前の暮らしを覚えている方は聞き取りは行なえるが、覚えておられない方が多く、ご家族のお話を聞く機会がない
- ・利用者とのコミュニケーションが取れていないため。
- ・情報収集不足
- ・初めての場面が多く、緊張で余裕がなく落ち着いた支援ができなかった。また安全面や効率を意識するあまり、本人の意思を尊重する意識が薄れてしまった

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

4. 地域での暮らしの支援

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
さらなる地域に根差した事業所となるよう、広報誌及びホームページでの活動状況に加え、地域での活動の場への参加や回覧板を通し、地域の相談場所である事を PR していく

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6		1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	5	6	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8	1	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	5	
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		3	7	2

できている点

- ・ホームページやブログで行事の様子を掲載している。
- ・生活歴の確認や生活を送る上で大切にしている事など個人の価値観に焦点を置き、得られた情報を共有するようにしている
- ・送迎時に家族と施設と自宅での生活の情報交換を行っている
- ・連絡ノートなどで夜間の様子や通い利用日ない日の様子の記載が合った時や送迎職員からの報告などで出来る限り把握できるよう心掛けている
- ・毎月、担当職員によるブログの更新を行い活動状況の報告を行っている
- ・ご利用者との会話の中で、在宅生活の把握に努めている
- ・ご本人や家族の意向により、馴染みの美容師による散髪を自施設において行われた方もおられる
- ・家人等を通してこれまでの生活や人間関係をなんとなくではあるが理解できていると思う
- ・ホームページのブログ・広報誌で、行事の様子・施設での様子を掲載している。
- ・日々のコミュニケーションにおいて、ご自宅で過ごされているときの情報について聴きとりを行い、把握するよう努めている
- ・細かな情報もできるだけご家族に連絡するように努めている
- ・独居のご利用者の配食サービスの利用等
- ・広報誌やホームページを活用して情報共有を図っている
- ・訪問利用されている利用者様は家族やご本人から体調や自宅でどのように過ごされているかなど聞き取りを行って把握に努めている
- ・月1回程度ブログを更新し行事等掲載している
- ・ホームページのブログで日頃の様子をのせている。
- ・連絡帳を通じて家族から報告あり、把握に努めている
- ・ブログ・広報誌などによりご利用者の日々の様子を載せている
- ・先輩の行動や事業所の活動内容を見て、地域支援の仕組みを理解しようとしている

できていない点

- ・長期宿泊の利用者は家族との関わりが少なくなっている。
- ・本人に必要な民生委員や地域資源等を把握できていない
- ・基本情報上の家族関係は分かるが生活スタイル把握が出来ていない。
- ・地域の資源の把握が出来ていない。
- ・直接かかわっていない時は、連絡ノートで家族の人が教えてくれる事もあるが、家族欄の記載がない利用者があるから
- ・ご本人が話されている内容が事実であるかわからない部分があり、十分とは言えないことがある
- ・地域の資源の把握行えていないどのように活用すればいいかわかっていない
- ・ご自宅でどのように過ごされているかほとんど把握できていない
- ・ご家族から連絡ノートに記載して頂いている方もおられるがほとんどの方が記載されていない為わからない
- ・これまでの生活スタイル・人間関係等理解できていない
- ・自分から地域活動に係る機会を積極的に作る事ができていない

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・本人と家族の思いが違う。
- ・関りが薄いから
- ・施設での生活リズムで時間が流れており「朝に風呂はしんどいな。」などの声を聞くと自宅や今までの生活スタイルを大切にしないといけないなと考える事がある。
- ・本人の住む地域の資源に何があるかまでしっかり把握できていない為。
- ・家族と話す機会がない利用者もいるため
- ・花田利用中にご自宅での過ごし方などコミュニケーションを図ることが出来ていない
- ・運営推進会議が行われているが、参加する機会がない
- ・家族と話す機会がない利用者もいるため
- ・地域の暮らしの支援ではまだ地域活動や広報n実践に参加する機会が少なく、事業所として地域貢献や相談窓口としての役割を十分に理解できていないから

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	7	2	
② ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	9		
③ 日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9	1	
④ その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	11		

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・ ケアケースや介護日誌で記録に残し職員間で周知できている。 ・ 事業所内のみで支援を完結するのではなく、利用者における課題から必要な支援を検討しており、小規模多機能の機能を確認しつつ、例えば他の介護保険サービスとの連携や支援展開の検討。また地域資源の活用も視野に入れつつ、その人の望む生活が送れるよう可能な限り柔軟に対応をしている ・ 本人の自宅での環境などに合わせて宿泊、訪問などが行えている ・ 御家族の体調不良や仕事の関係にて急な宿泊にも柔軟に対応できていると思う。 ・ 施設職員以外のフォーマルやインフォーマルサービスを利用されている方は、おられる ・ ご利用者の状態や、ご家族による急な申し出があった場合でも、可能であれば受け入れる等柔軟に対応は、行っている ・ 個別のケアケースの記載や、必要事項であれば介護日誌に記載を行うと共に、申し送り時にも報告行い情報共有し、注意喚起に努め支援を行っている ・ 変化は気づきミーティング等で共有出来ていると思うし、比較的柔軟に対応していると思う。 ・ 本人の状態変化があれば、介護日誌と夜間日誌で記載し、朝礼時に報告している。 ・ 家族の要望で、宿泊・通い・訪問を可能な限り受け入れしている。 ・ 配食サービス等の利用において、独居ご利用者の安否確認の協力を得ている ・ 個々のニーズに合わせて、入浴の訪問支援を行ったり、緊急の宿泊に対しても柔軟に対応している ・ 連絡ノートや、送迎時の家族からの情報をチームで共有し、変化についての柔軟に対応できるよう努めている ・ 朝礼時や毎日の業務の中で利用者様の体調や気持ちの面など気が付いたとき職員間で情報共有行い状態に合わせた支援を行っている ・ ご本人の状態については家族にその都度報告行い情報共有している ・ 突発的な宿泊利用や通い利用などに対応行えていると思います ・ 全体会議、毎日の申し送りにて職員全員が把握できるようにしている ・ 本人の状態変化があれば、介護日誌と夜間日誌で書いて、朝礼時に報告してる ・ 通い・訪問・宿泊を組み入れたサービス提供を行っている

- ・家族へ利用者の状況を聞き取ったり、電話などで確認し職員間で情報の共有を行っている
- ・利用者さんの体調や気分の変化に応じて、支援内容や声掛けを柔軟に調整できた

できていない点

- ・その時の本人のニーズに応じた支援ができていない時がある。
- ・宿泊を中心に利用されている方は 施設内だけでの生活になっている方もおられる。
- ・地域の資源はほとんど使えていないと思う。
- ・地域の資源を使って支援行えていない
- ・本人にとってニーズに合った提供が出来ているか分からない時がある
- ・支援の切り替えや工夫を行う際、経験不足から判断が遅れてしまった

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・本人と家族のニーズが違う為
- ・なかなか外出の機会が設けられない為
- ・地域の資源をうまく活用できていないだけでなく、利用者の家人もここを利用しているだけで留まっていると思う。
- ・地域の資源をどう使って支援したらいいのかわからない
- ・利用者さんの体調や気分の変化に気づく経験や判断力がまだ十分でなかったため、支援の切り替えが遅れてしまった。柔軟に対応する自信や判断が不足しているため

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

6. 連携・協働

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	1	2	8
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1	1	9
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	7		3
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	2	2	7

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・秋祭りに参加させてもらっている ・見学者をはじめ、地域住民や相談等を含めた対応をしており、事業所に来られる相談もある。 ・多職種連携や、自治体への会議や研修の場へも参加しており、情報共有を図ると共に研修については参画している。加えて、地域で開催される祭り等のイベントへの参加もしており、微力ながら地域交流を図らせていただいている ・往診や訪問看護を受けられている方の相談や処方内容の確認を薬局へ電話を実際に行うこともあり 連携を実感できる機会も増えているように思う ・年1回の夏季に開催の校区作品展に、出品している。また、地域の秋祭りには練子として2日間各1名ずつ参加させて頂いている ・秋祭り時の、神輿の巡行の際には地域住民の来訪あり ・地域の祭りには参加できるようになった ・夏の作品展に参加できていました。秋祭りにも参加できていました。 ・秋祭りにおいて、地域住民の訪問がある ・地域の作品展において、当事業所の作品を掲示し、活動内容を報告している ・訪問看護等利用されている方はおられ、情報共有は図っているが会議には参加できていない ・秋祭りに神輿がきてくれその日おられる利用者様は参加できている ・夏の作品展に参加できていました。秋祭りにも参加できていました。 ・年2回の地域の消防署の協力を得て消防訓練を事業所で行っている ・先輩職員の指示やサポートを受けながら r ふえん系の流れを理解しようとした

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民などの訪問などが無い ・秋祭りなどの参加はあるも 施設に来てもらうのみでこちらから出向いての参加はあまり出来ていない。 ・職員による会議出席はないが、訪問看護事業所間との電話での情報共有は行なっている

- ・他サービスや自治体の会議に参加する機会がない。
- ・自治体等の会議には参加できていないから
- ・サービス機関や地域包括などの会議には、参加できていない
- ・自治体や地域包括支援センターとの会議には参加できていない
- ・職員配置的に会議に参加するのは難しい為管理者が参加行っている
- ・経験が少ないため

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・施設に訪問してもコロナ禍以降めっきり減ってしまっている
- ・自治会・町内会でどのようなイベントがあるのか把握できていない為
- ・事前に会議の日時等が分かっていたら、業務時間内での職員配置の調整は可能ではあるが・・・
- ・まず機会がないから参加することがないのと、地域住民が事業所を訪れるきっかけになる様なイベント等がないから。
- ・時間帯が難しく参加できていないから。
- ・人員体制上、参加できないため
- ・子供会もなくなり子供との交流の機会がなくなっている
- ・地域の活動やイベントもほとんどなく参加行えていない
- ・時間が難しく参加できていません
- ・経験が少ないため。どうすればいいのかわからなかった

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

7. 運営

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画
 運営推進会議等において BCP の報告などを行い、地域及び事業所の情報共有を図り、有事においてさらなる備えをしていく

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	5		1

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？		8	2	2
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	10	1	
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		6	6	
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	6	1	4

できている点

- ・送迎時や電話等で家族との関わりを大切に関係作りに努めている。
- ・職員会議時や朝礼時、又は業務中において、業務内容そのものについて意見交換を行う事や、業務には直接関係のない話も行う事で意見及び相談がしやすい環境を目指している。職員同士の意見が気軽に行える環境を整え、職員とご利用者、職員とご家族、職員と地域の方々などの情報交換へ発展出来るようにしている
- ・利用者からくる要望などできる限り聞き入れている
- ・御家族より話が合った内容は他職員と共有したり 管理者へも報告を行っている。
- ・連絡帳の活用や電話によるご家族からの意見等や、運営推進会議時に地域の方からの意見が見られた時は、朝礼時や全体会議に報告し、運営に反映している
- ・職員としての意見も、上記以外(朝礼時・全体会議時)にも発言行う機会はある
- ・家人や利用者からの意見等はしっかり把握できていると思う
- ・家族からの意見や苦情があった場合は、職員間へ報告行ってる。苦情解決にむけて職員間で取り組んでいる
- ・BCP の研修において、職員間で意見交換を行う場があり、有事においての備えを再確認し、共有した。
- ・利用者様や家族からの意見や苦情がある場合はすぐに管理者、主任に報告し職員間で情報共有行っている
同じことを繰り返さない為にも改善策を考え会議や申し送りにて周知行っている
- ・自分が気が付いたことや確認したいことはその都度伝えるように努めている
- ・BCP は会議で管理者が研修を行い少しずつ認知していると思う
- ・物品についてもいるものを少しずつそろえたり、数の確認等行っている
- ・家族からの意見や苦情があった場合は、職員間へ報告しています。
- ・苦情に対して今後どう対応していくか職員で話し合っって同じことを繰り返さないように努力している
- ・定期的に運営推進会議が行われ意見交換を通じて運営に反映させている
- ・先輩の指示に従って業務や支援の手順を理解して動けた

できていない点

- ・地域に目を向けた支援は出来ていない。
- ・事業所のあり方について意見が言えていない
- ・会議などで意見を求められる時には自分の考えを伝える事ができているが自分発信ではなかなか伝えることが出来ていない。
- ・地域の意見等はあまり反映できているか分からない
- ・地域の交流がないから
- ・地域と協働した取り組みは行なえていない
- ・急な変更やトラブルへの対応に慣れておらず落ち着いて行動できなかった

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・意見を言う事を特に考えてないから
- ・積極性が足りない為
- ・地域の方からの意見や苦情があまり耳に入ってこないから反映できているか分からない。
- ・新人で業務の全体の流れや優先順位になれていなかったため

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

8. 質を向上するための取組み

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか?				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	8		
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	6	4	
③ 地域連絡会に参加していますか		1	2	9
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	1	

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議での月1回の研修やリモート研修に参加出来ている。 ・職場内外への研修参加の機会を保持しており、職員へ積極的に参加してもらっている。 ・職員の経験値及び希望等に応じた研修参加も回りスキルアップの場としての活用をしている。また資格取得についての情報も提供しており、これを応援する機会を持っている ・環境や不穏などのリスクを考えて行動できるようになってきた ・職場内の研修では職員が研修を行うことでとても勉強になり今後も続けていきたい ・担当職員による施設内研修を実施している。また、法人全体で行う研修に参加したり、外部研修においては、管理者と相談のもと職員の適任者を選出し参加を促進している ・ヒヤリハットによる報告で、職員間で共有及び意識して改善策を実施し再発防止を行っている ・研修は興味のあるもの等は個人的に参加したりしている。 ・リモート研修に参加しています。 ・職場内の研修に参加してスキルアップを図っているから ・会議時の研修に参加している ・リスクマネジメント研修において内容を再確認し、ヒヤリハットの報告があれば、改善点の検討を職員間で行い、事故の再発へ至らないように努めている ・研修は職場内は研修担当の職員が行ってくれている 社外研修はリモート研修に何度か参加しスキルアップが図れている ・リスクマネジメントの研修を受けて再確認行っている ・ヒヤリハットなどその都度改善点を職員間で話し合っ色々取り組めるよう行っている ・職場内の研修に参加してます ・ヒヤリハットや事故報告書を朝礼時職員間で周知し再発防止に努めている ・利用者さんの様子や反応を観察し、改善点を気づいた範囲で調整できた
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会に参加できていない ・外部研修の参加が出来ていない
---------	--

- ・地域連絡会に、参加はできていない
- ・地域連絡会には参加していない
- ・地域連絡会に参加できていない
- ・地域連絡会の参加はできていない
- ・資格取得の研修は参加できていない
- ・地域連絡会に参加していない
- ・経験不足から改善点を具体的にどう反映させるか判断できないことがあるため

なぜ？ どうして？ できていないのか？（その理由）

- ・よく把握していない
- ・自分自身で受講来ていない為
- ・必要であれば、事前に日時等の確認がとれるなら業務時間内であれば、調整は可能かと思う
- ・参加する機会がない
- ・地域連絡会はどこで・どの場所でやっているかわからないからです。
- ・地域連絡会はどこで・どの場所でやっているかわからないです。
- ・経験や判断力が十分でないため。具体的に反映させたりするのが難しかった

スタッフ個別評価・様式

実施日 年 月 日

9. 人権・プライバシー

氏名 職員集計

◆前回の改善計画に対する取組み状況

前回の改善計画	

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 前回の課題について取り組みましたか？				

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない
① 身体拘束をしていない	8	4		
② 虐待は行われていない	8	4		
③ プライバシーが守られている	1	9	2	
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	8		3
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	5	7		

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束、虐待なく個人情報の管理も行えている。 ・身体拘束ならびに高齢者虐待は行われておらず、この発生予防のための研修においては事業所内でも繰り返し研修等による周知を図り、定期的な委員会にてその研修内容やその発生予防の状況についても振り返る機会も持っている ・虐待や拘束等日々気を付けて取り組んでいる。 ・虐待や身体拘束については定期的に研修もっており 職員全体が意識して取り組んでいる ・研修を行うと共に、3ヶ月に1回管理者・看護師・介護主任による委員会を開催し、情報共有や振り返り等を行っている ・浴室や脱衣室では、カーテンで仕切りを行い羞恥心等の配慮を行っている ・個人情報の取り扱いについては、破棄を行う際には専門業者による専用の段ボールに入れ処分を行う ・以前に、成年後見制度を活用されていたご利用者はおられた ・身体拘束もしていないし、虐待も行われていないし、個人情報も守られるよう努力している ・プライバシーに配慮している。 ・個人情報の管理は十分に気を付けてる。 ・虐待、身体拘束は行っていない ・個人情報の破棄については適正に行っている ・利用者様の個人情報はロッカーにしまっており、外部の方から見えないようにしている ・身体拘束、虐待は行なわれていない プライバシーも守られるようカーテン使用したりトイレ、浴室のドアの開閉には注意を払っている大きな声で排泄の確認などしないよ気を付けている ・個人情報の書類は機密書類の段ボールに入れて処理している ・プライバシーに配慮していると思います。 ・個人情報の管理は十分に気を付けてます。
--------	---

- ・個人を尊重しその人のペースで支援できるように心がけている
- ・利用者さんに対して丁寧な言葉遣いで関わろうとしている

できていない点

- ・プライバシーについて職員間の申し送りの会話で聞こえてしまっているかもしれない
- ・前回の評価時にも上げていたと思うが血圧や体温も個人情報であるため気を付けようと話があったが、フロア内で他者に聞こえる声で行ってしまっていることが今もある。
- ・プライバシーを守るように努力しているが血圧数値などまだ大きい声で言う時がある。
- ・プライバシーには気を付けているつもりだが、大きな声で、失礼な言葉を話していることがある。
- ・脱衣場のドアに以前は暖簾があったが今がない為ドアを開けると中が見えるときがある
- ・トイレのドアを知らずに開けられる方がおられるので職員が気にかけてみる必要がある
- ・トイレ後や必要物品などホール内に聞こえる声を出してしまう時がある
- ・仕事がいそがしい時に説明や声掛けが不十分になる事がある

なぜ？どうして？できていないのか？（その理由）

- ・職員の会話の場所とボリュームを考えないといけない。
- ・個人情報であるという意識が職員間でまだまだ足りないところがあると思う。
- ・気を抜いてしまっていたりする
- ・職員に報告している時も大きな声になってしまってる事があって、その時、利用者の近くで話してるため
- ・その場を離れられない時など大きい声を出してしまう
- ・プライバシーには気を付けているつもりだが、大きい声で話している事もあります。
- ・現場が忙しいとついスピード優先になってしまう時がある